



2024 めぐるの環境

令和6年度版環境報告書

概要版

2024(令和6)年9月

目黒区

「めぐろの環境」とは

- 「めぐろの環境」は、「目黒区環境基本条例」第9条の規定に基づき、「目黒区環境基本計画」に基づく環境保全施策の実施状況などについて明らかにし、広く区民の皆さんに公表する環境報告書です。
- 2024（令和6）年度版「めぐろの環境」は、2023（令和5）年3月に改定した「目黒区環境基本計画」に基づき、2023（令和5）年度に実施した環境保全施策をまとめた報告書です。また、区役所の事務事業からの温室効果ガス排出削減対策の取組実績も掲載しています。
- 本概要版は、「めぐろの環境」の本編をわかりやすくまとめた冊子です。

目次

第1章 環境保全施策の取組	1
基本方針1 レジリエントなまち	
カーボンニュートラルの未来をつくる	1
基本方針2 資源が循環するまち	
ものを大切にして資源が循環する未来をつくる	4
基本方針3 みどりをを感じるまち	
身近なみどりははぐくみ、みどり豊かな未来をつくる	7
基本方針4 快適に暮らせるまち	
健康で安心して快適に暮らせる生活環境の未来を守る	10
基本方針5 パートナーシップで取り組むまち	
みな環境を知り、学び、行動する未来をつくる	13
ゼロカーボンシティ実現に向けた重点プロジェクト	
区民、事業者、区の3つの取組	15
第2章 区役所の温室効果ガス削減の取組	16

目黒区環境基本計画の体系図

環境像	基本方針	施策の目標
地域と地球の環境を守りはぐくむまち めぐろからの挑戦	基本方針1 レジリエントなまち カーボンニュートラルの未来をつくる 〔目黒区地球温暖化対策実行計画（区域施策編）〕 〔目黒区気候変動適応計画〕	1-1 ライフスタイルの省エネルギー化・脱炭素化の促進 1-2 積極的な再生可能エネルギーの活用 1-3 脱炭素型まちづくりの推進 1-4 気候変動適応策の推進
	基本方針2 資源が循環するまち ものを大切にして資源が循環する未来をつくる	2-1 3Rの取組の推進 2-2 ごみの適正処理の徹底
	基本方針3 みどりをを感じるまち 身近なみどりははぐくみ、みどり豊かな未来をつくる	3-1 自然環境の保全・みどりの創出と質の向上 3-2 都市の生物多様性の確保
	基本方針4 快適に暮らせるまち 健康で安心して快適に暮らせる生活環境の未来を守る	4-1 安全・安心な生活環境の確保 4-2 清潔で美しいまちの維持
	基本方針5 パートナーシップで取り組むまち みな環境を知り、学び、行動する未来をつくる	5-1 継続的な環境教育と学習機会の充実 5-2 環境活動の支援

「第1章 環境保全施策の取組」に掲載した指標について

「目黒区環境基本計画」では、「目指すべき環境像」の実現に向けて、基本方針ごとに成果指標を設定し、評価をしています。「目黒区環境報告書」では、成果指標と取組点検項目について、3段階で評価し、顔マーク（☺・☹・☹）で記載しています。

第1章 環境保全施策の取組

「目黒区環境基本計画」に掲げた5つの基本方針に沿って、2023（令和5）年度に実施した環境保全施策の内容について報告します。

基本方針1 レジリエントなまち

カーボンニュートラルの未来をつくる

指標の評価

😊：目標値を達成 😊：目標値に近づいている 😞：目標値に近づいていない -：現状値を把握していない

指標項目		基準年度	基準値	目標値 (2032年度)	2023(令和5) 年度末実績値	評価
成果指標						
①	区域における二酸化炭素排出量	2013	1,179 千t-CO ₂	589.5 千t-CO ₂ 2030年度実績値 2013年度比50%減	948 千t-CO ₂ 【2021(令和3) 年度実績値】※1	😊
②	再生可能エネルギーの導入容量（累計）	2021	9,083 kW	30,000 kW	9,888 kW	😊
取組点検項目						
1-1	区・区民・事業者が地球環境に配慮した行動をとっていると思う区民の割合※2	2021	35%	70%	49%	😊
1-1	区の事務事業による温室効果ガス排出量	2013	23,627 t-CO ₂ -eq	9,451 t-CO ₂ -eq 2013年度比60%減	15,764 t-CO ₂ -eq	😊
1-2	再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置費助成による年間CO ₂ 削減量（累計）	2021	3,636 t-CO ₂	6,160 t-CO ₂	4,273 t-CO ₂	😊
1-2	区有施設への再生可能エネルギー導入容量（累計）	2021	103 kW	300 kW	103 kW	😊
1-3	エコ住宅（ZEH及び東京ゼロエミ住宅）の助成件数（累計）	2021	11件	111件	47件	😊
1-3	区有施設におけるZEV（ゼロ・エミッション・ビークル）導入台数（累計）	2022	1台	31台	4台	😊
1-4	適応策について情報収集等の対策に取り組んでいる区民の割合※3	2020	33%	70%	47%	😊
1-4	保水性舗装・遮熱性舗装の道路整備（累計）	2017	10,122 m ²	13,752 m ²	11,568 m ²	😊

※1 出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」・2024（令和6）年3月発行「特別区の温室効果ガス排出量【1990(平成2)～2021(令和3)年度】」

※2 区民に対する『環境に関するアンケート』の問16の集計結果の平均値から算出。

※3 区民に対する『環境に関するアンケート』の問5㉔㉕の集計結果の平均値から算出。

2023(令和5)年度の成果

- 基準年度に対し、二酸化炭素排出量は20%減少、再生可能エネルギーの導入容量は805 kW増加しており、目標値に近づいています。
- 8つの取組点検項目のうち、7つの項目が目標値に近づいています。

施策の目標 1-1 ライフスタイルの省エネルギー化・脱炭素化の促進

● 「めぐろスマートライフ」での情報発信

区では、エコライフめぐろ推進協会と連携・協力し、ウェブサイト「めぐろスマートライフ」を公開しています。このウェブサイトは、より快適で便利な、思わずトライしたくなるようなアイデアやコツなどの情報を発信し、めぐろスマートライフ（環境にやさしい行動を賢く選択できる暮らし方）を実践していくことで、脱炭素社会の実現を目指すものです。一方的な情報提供だけでなく、区民からもアイデアや体験談を募集し、双方向の発信を目指しています。

2023（令和5）年度は、料理レシピのコミュニティウェブサイト「クックパッド」に「スマートライフレシピ」の一部を掲載しました。また、目黒区子育て支援課が運営する「めぐろ子育てホットナビ」、環境省の「プラスチックスマート」、東京都環境局の「チームもったいない」にめぐろスマートライフの情報を継続的に掲載する等、めぐろスマートライフの幅広い周知に努めました。

●めぐろスマートライフ ロゴ●



●めぐろスマートライフ QRコード●



施策の目標 1-2 積極的な再生可能エネルギーの活用

● 住宅用再生可能エネルギー及び省エネルギー設備設置費助成

本事業は、環境負荷の少ないエネルギー利用を促進し、地球温暖化対策の推進を目的として行っています。二酸化炭素排出量の削減に貢献する再生可能エネルギー設備や省エネルギー設備を設置する区民を対象に、設置経費の一部を助成しました。

● 2023（令和5）年度実績 ● （ ）：2022（令和4）年度実績

助成対象設備	助成額	助成額の 上限	助成件数	累計
太陽光発電システム	本体価格の 3分の1	15万円	73件 (36件)	770件
家庭用燃料電池システム		7万円	16件 (7件)	503件
家庭用蓄電システム		7万円	123件 (39件)	299件
CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器		5万円	14件 (7件)	197件
HEMS（家庭用エネルギー管理システム）		2万円	17件 (22件)	181件
マンション共用部LED照明		10万円	13件 (7件)	94件
エコ住宅（東京ゼロエミ住宅及びネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）		30万円	19件 (17件)	47件

施策の目標1-3 脱炭素型まちづくりの推進

● 公用E V車のカーシェアリング事業・区有施設へのE V充電設備等の設置

2023（令和5）年7月から総合庁舎内の東口駐車場を活用して電気自動車（E V）によるカーシェアリング事業の試行導入を行いました。電気自動車（E V）2台を配置し、庁用車として活用する一方で、庁用車として利用していない時間帯については、区民がカーシェアリングサービスとして利用できるものとなっています。

また、総合庁舎南口駐車場に電気自動車用の超急速充電設備を設置するため、事業者と契約締結を行いました。

● 公用E V車のカーシェアリング●



2024(令和6)年度から住宅リフォーム資金助成を拡充

住宅の省エネルギー化（断熱・節水）の助成事業として、2024（令和6）年度から住宅リフォーム資金助成（省エネリフォーム）を開始しました。対象工事は、内窓の設置、複層ガラス・断熱窓・断熱ドアへの取替、壁・天井・床下の断熱材施工、ビルトイン型食洗機・節水型トイレの設置で、工事費用の合計が20万円（税抜）のものです。

施策の目標1-4 気候変動適応策の推進

● 熱中症予防情報発信・涼み処普及啓発

区では、熱中症予防の普及啓発や熱中症警戒アラートなどの注意喚起を行っています。2023（令和5）年度は、熱中症予防リーフレットの印刷・配布や総合庁舎でのパネル展示のほか、熱中症警戒アラート発表時には、庁舎内に「警戒アラート発令中」を示すポスターを掲示しました。

また、例年、熱中症による救急搬送患者の半数以上が高齢者であることから、経口補水液等の配付や、介護保険料決定通知への啓發文掲載、民生児童委員によるリーフレット配布など、直接の注意喚起を行いました。

このほか、区の施設（高齢者センター1か所、老人いこいの家24か所）を、日中を涼しく過ごし、水分補給ができる「涼み処」として開放しています。

● 熱中症予防リーフレット●



● 災害時の情報周知の充実化・防災に関する意識啓発

区では、目黒区防災地図アプリやLINE、ヤフーアプリ等の媒体を用いて避難情報や避難所の開設状況等を発信しています。2023（令和5）年度は、目黒水防フェスタで、東京マイ・タイムラインの配布を行いました。

このほか、区公式ウェブサイト等で、地下施設・半地下建物への浸水対策の情報提供を行っています。

● 目黒区防災地図アプリ●



ものを大切にして資源が循環する未来をつくる

指標の評価

😊：目標値を達成 😊：目標値に近づいている 😞：目標値に近づいていない -：現状値を把握していない

指標項目		基準年度	基準値	目標値 (2032年度)	2023(令和5) 年度末実績値	評価
成果指標						
③	めぐろ買い物ルールや取組の認知度※1	2021	33.7%	50.0%	15.7%	😞
④	年間のリサイクル率	2021	26.0%	40.0%	25.4%	😞
取組点検項目						
2-1	3Rに関する環境学習の実施回数(年間)	2021	8回	35回	24回	😞
2-1	3Rに関するSNSの情報発信回数	2021	5回	10回	34回	😊
2-2	事業用大規模建築物の排出指導	2021	0回	50回	25回	😞

※1 区民に対する『環境に関するアンケート』の問14「めぐろ買い物ルールについて」について、1よく内容を知っている、2多少の内容は知っていると回答した割合。

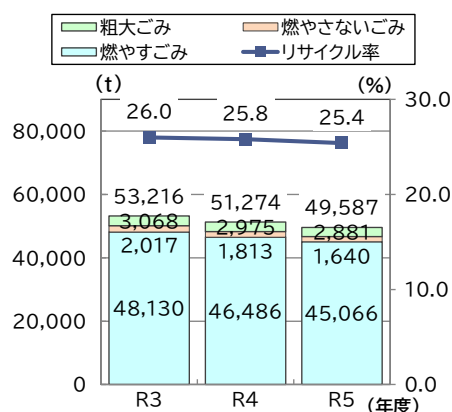
2023(令和5)年度の成果

- めぐろ買い物ルールや取組の認知度は基準値から18ポイント、年間のリサイクル率は、基準値から0.6ポイント減少しています。
- 3Rに関する環境学習の実施回数は、実施方法や内容等を工夫したことで、目標値に近づいています。
- 区公式SNSによるプッシュ型の情報発信手段を活用し、3Rに関するSNSの情報発信回数は、34回と目標値を大きく上回りました。
- ごみの適正処理の推進に向けた事業用大規模建築物の排出指導の取組を進めています。

目黒区から排出されるごみ量・リサイクル率

「プラスチック資源循環促進法」の施行に伴い、容器包装プラスチック以外のプラスチック(製品プラスチック)を含めたプラスチックの資源回収を2023(令和5)年7月から開始しました。2023(令和5)年度のごみ量は、2022(令和4)年度と比べると3.3%減少しました。リサイクル率については、やや減少傾向となっています。

区民1人1日当たりのごみ量は、484gでした。



施策の目標2-1 3Rの取組の推進

● 3 Rに関する環境学習の実施

区では、子どもたちや周囲の大人たちが資源とごみの適正排出やごみの減量について興味を持ち、日々の生活の中で実践していくことを目的に、清掃事務所と連携しながら、出前講座や子ども向け環境学習を実施しています。

2023（令和5）年度は、保育園や小学校で、環境学習を24回実施し、ごみ減量キャラクター、紙芝居、パネルなどを活用した説明や啓発品の配布を通して、効果的な普及啓発を推進することができました。

● 環境学習用の普及啓発品 ●



● めぐろ買い物ルール

「めぐろ買い物ルール」は、ごみをなるべく出さない賢い買い物（スマートショッピング）を区内に広めるための、リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、食品ロス削減につながる区民・事業者共通のルールです。取組を推進する店舗などを「めぐろ買い物ルール参加店」として登録し、取組を紹介することでルールの推進と区民への意識啓発を図っています。総合庁舎でのパネル展示や懸垂幕の掲出によりルールの周知と「めぐろ買い物ルール参加店」の拡大を図り、2023（令和5）年度末時点で105店舗となりました。

● めぐろ買い物ルールステッカー ●



● 食品ロス削減の普及啓発・フードドライブの実施

「めぐろ買い物ルール」の食品ロス削減に取り組む店舗を「食べきり協力店」として登録しており、2023（令和5）年度末時点で85店舗となりました。食品ロス削減月間には、「食べきり協力店」と連携し、「めぐろ食べきり！カレー作戦」キャンペーンの展開や食べきりレシピの紹介により、食品ロス削減に向けたPR活動を実施しました。

また、エコライフめぐろ推進協会では、家庭に眠っている食品を持ち寄り、必要な家庭に届ける「フードドライブ」の窓口を常設しており、2023（令和5）年度は、延べ325人から3,790点（1,273.15kg）の食品が集まり、区内の福祉施設等に配布しました。

● 食べきり協力店ステッカー ●



● 資源回収・リサイクルの促進

区では、びん・缶・ペットボトル・プラスチック製容器包装の分別回収や、事業系等古紙回収、集団回収活動への支援、乾電池・紙パックや使用済小型家電等の拠点回収などを行っています。

2019（令和元）年12月から、パソコンを含む小型家電については、国の認定事業者であるリネットジャパンリサイクル株式会社と協定を締結し、宅配便による回収も実施しています。2023（令和5）年度の回収量は38.8tでした。

また、2023（令和5）年7月から新たに製品プラスチックの分別回収を開始したほか、小型充電式電池を使用した製品の拠点回収を開始しました。

施策の目標2-2 ごみの適正処理の徹底

● ごみの分別ルール徹底（ふれあい指導（排出指導）・不法投棄の防止）

ごみの分別ルールの徹底を図るため、清掃事務所職員が、集積所において区民とコミュニケーションを図りながら正しいごみの出し方の支援等を適宜行っています。また、不法投棄を予防するため、集積所などに警告ポスターを掲示しました。

事業所に対しては、排出指導を実施しています。2023（令和5）年度は2,069か所の事業所を訪問して排出指導を行いました。このほか、事業者が自らごみの排出状況を確認して適正処理に取り組むことやごみの減量、資源循環の意識醸成を図ることを目的としたリーフレットを作成、配布し普及啓発に取り組んでいます。

●事業者向けリーフレット●



● 水銀を含む製品の分別回収・適正処理困難物等に関する情報提供

区では、2016（平成28）年4月から水銀含有物の分別回収を実施しています。2023（令和5）年度は、蛍光灯等を10,969kg回収しました。しかし、燃やさないごみとして水銀含有物が排出されることもあるため、水銀を含む製品の回収方法やボタン電池、小型充電式電池等の適正処理について、「資源とごみの分け方・出し方」等のパンフレットや区公式ウェブサイト、区公式SNS、パネル展示等により情報提供を行いました。

●水銀を含む製品●



目黒区一般廃棄物処理基本計画の改定

「目黒区一般廃棄物処理基本計画」は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第6条に基づき、区市町村が、一般廃棄物の適正な処理を進めるための基本方針を明らかにするものです。

「食品ロスの削減の推進に関する法律」や「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の施行、区における2050年ゼロカーボンシティの表明など社会情勢や区民ニーズの変化などに対応するため、2024（令和6）年度を初年度とする計画に改定しました。

改定の主なポイントは、以下のとおりです。

- 区民1人1日当たりのごみ量400g、リサイクル率40%を新たな目標として掲げました。
- 「めぐる買い物ルール」を現在の多様化した生活様式にも対応した内容に改定しました。
- 区民、事業者と連携・協力しながら、食品ロス削減を推進することを目指し、食品ロス削減推進計画を定めました。



基本方針3 みどりを感ずるまち

身近なみどりをはぐくみ、みどり豊かな未来をつくる

指標の評価

😊 : 目標値を達成 😐 : 目標値に近づいている 😞 : 目標値に近づいていない — : 現状値を把握していない

指標項目		基準年度	基準値	目標値 (2032年度)	2023(令和5) 年度末実績値	評価
成果指標						
⑤	緑被率	2014	17.3%	20.0%	17.0%	😞
⑥	野鳥の年間確認種数	2021	56種	70種	49種	😞
⑦	自然やみどりが豊かだと 感じる人の割合※1	2021	70.5%	増加	70.8%	😊
取組点検項目						
3-1	1人当たりの公園等の面積	2021	1.76㎡/人	2.00㎡/人	1.74㎡/人	😞
3-1	グリーンクラブなど公園 等で活動を行う登録団体 数※2	2021	111団体	120団体	97団体	😞
3-1	保存樹木本数・ 保存樹林面積	2021	樹木656本	増加	樹木652本	😞
			樹林 81,825.63㎡	増加	樹林 81,504.63㎡	😞
3-1	屋上緑化・壁面緑化助成面積 (累計)・接道部緑化助成 延長(累計)※3	2021	屋上・壁面 5,792.64㎡	増加	屋上・壁面 5,878.88㎡	😊
			接道部 11,257.53㎡	増加	接道部 11,452.21㎡	😊
3-1	目黒川の悪臭発生日数	2021	37日	0日	25日	😐
3-2	いきもの气象台情報提供 数(1~12月累計)	2021	2,394件	増加	2,222件	😞
3-2	自然通信員登録数	2021	1,304世帯	増加	1,207世帯	😞

※1 区民に対する『環境に関するアンケート』の問1「⑦自然やみどりの豊かさ」について、1 満足、2 まあ満足と回答した割合。

※2 グリーンクラブ、公園活動登録団体の合計値。

※3 民有建物における緑化(屋上、壁面、接道部など)を支援する「みどりのまちなみ助成」の累計実績。

2023(令和5)年度の成果

- 屋上緑化・壁面緑化助成面積・接道部緑化助成延長は、順調に増加しています。一方、保存樹木本数・保存樹林面積が減少していることも影響し、緑被率は基準値から減少しています。1人当たりの公園等の面積は人口増に伴い減少しました。自然やみどりが豊かだと感じる人の割合は70.8%で微増しています。
- いきもの气象台情報提供数や自然通信員登録数が減少していることから、野鳥の年間確認種数も基準値から減少しています。
- 流域連携による目黒川の水質浄化対策や河川清掃、河床整正・^{しゅんせつ}浚渫の実施により、目黒川の悪臭発生日数は基準値より減少しており、目標値に近づいています。

施策の目標3-1 自然環境の保全・みどりの創出と質の向上

● 生物多様性保全林の指定・自然環境保護活動の推進

区内でいきものの生息拠点となっている場所を保全するため、公園や公共施設等で永続性がある一定規模以上の緑地についてエリアを生物多様性保全林として指定し、みどりの保全やいきものの生息拠点としての機能向上を図る取組を進めています。菅刈公園と駒場野公園が指定されているほか、生物多様性保全林事業を進めていた碑文谷公園が、2023（令和5）年度に生物多様性保全林として指定されました。

菅刈公園では、地元NPOが実施する「平成の森づくり教室」に協力し、公園内のいきものの調査を行うとともに、公園の自然環境保護につながる活動の検討を行っています。

● 碑文谷公園生物多様性保全林事業 ●



● パートナースhipによる公園の管理運営・緑化活動の支援

質の高い公園の維持や公園の活性化に向けて、区の公園管理に住民ボランティアが関わっています。9つの公園で20団体が住民参加による公園管理を行いました。

また、地域住民が公園などの花壇に花を植え、周囲の環境をきれいにする活動として「グリーンクラブ」があり、97団体に花苗を配布しました。このほか、各住区のイベントなどで参加者にキンモクセイやアジサイ、ハギなど、合計1,100本の苗木を配布しました。

● グリーンクラブが手入れした花壇 ●



● みどりのまちなみ助成・保存樹木等の指定・管理・支援

区全体の面積の約7割は民有地であることから、民有建物の緑化を支援するため、区では、「みどりのまちなみ助成」として生け垣の新設・改造など接道部（道路沿い）の緑化や、屋上・壁面緑化などに係る造成費の一部を助成しています。

また、区のみどりの約5割を占める住宅地のみどりを保全するため、区では、一定規模以上の大きさの樹木、生け垣、樹林を保存樹木などとして指定し、維持管理費用の一部を助成しています。

● 道路沿い緑化の例 ●



● 河川環境の改善

河川の水質改善や臭気抑制を目的として、目黒川では、河川・水面の清掃、河床整正・浚渫、目黒川クリーンアップ大作戦の実施などを行っています。目黒川クリーンアップ大作戦は、上中流を「目黒川上中流の会」、下流を「目黒川を豊かな生活環境にする会」が主催し、区が共催する、地域と行政が連携した大規模な清掃活動で、2023（令和5）年度は、3回実施しました。

● 目黒川クリーンアップ大作戦 ●



施策の目標3-2 都市の生物多様性の確保

● 区民による身近な生物調査と自然通信員の育成

区では、住民のみなさまから区内にいるいきもの観察記録を集めて、そこから区の自然の姿や変化を把握する調査活動「めぐろいきもの气象台」を実施しています。2023（令和5）年度は、2,222件の報告が寄せられました。

調査活動の参加者には、「自然通信員」としての登録を依頼しており、2023（令和5）年度末で、1,207世帯が登録されています。自然通信員には、情報の共有や継続的な参加を図るため、自然通信員だよりを発行・送付しているほか、年1回「いきもの住民会議」を開催しています。

● 自然通信員だより ●



● いきもの発見隊の開催・目黒区いきもの住民台帳

区民参加により区内の身近ないきものの生息状況を調べ、専門の先生の講義により自然や生物多様性の大切さについて学ぶイベント「いきもの発見隊」を毎年開催しています。目黒川で実施する「いきもの発見隊」では、2023（令和5）年度は14種類のいきものが確認できました。

また、区民から寄せられたいきものの観察情報を取りまとめ、「目黒区いきもの住民台帳」として区公式ウェブサイトで公開しています。

● 目黒川の生物調査の様子 ●



● ビオトープ活動・みどりやいきものとふれあう機会の提供

身近ないきものが暮らす環境の創出・育成の場として、ビオトープ活動が区立小学校・幼稚園・公園の22か所で進められ、区立3公園では住民活動団体によりビオトープの保全・管理が行われています。

みどりやいきものとふれあう農業体験の機会として、区民農園の貸出を行っているほか、ぶどう狩りやじゃがいも掘り、秋野菜の収穫体験農園を実施しています。

また、区内の小・中学校を対象に、興津自然学園、八ヶ岳林間学園及び八ヶ岳方面の民間施設、気仙沼市、金沢市での自然宿泊体験教室や日帰り自然体験、学校独自の宿泊事業の支援など自然とふれあう機会を提供しています。

このほか、雑木林の管理作業や自然観察を通じて自然保護意識の向上を図ることを目的に、自然クラブの開催や駒場野公園内の自然観察舎を利用した体験型自然学習を推進しており、2023（令和5）年度は、自然クラブは24回開催・755人参加、自然観察舎は11,875人の利用がありました。

● ビオトープ活動 ●



● 自然クラブ ●



健康で安心して快適に暮らせる生活環境の未来を守る

指標の評価

😊 : 目標値を達成 😊 : 目標値に近づいている 😞 : 目標値に近づいていない - : 現状値を把握していない

指標項目		基準年度	基準値	目標値 (2032年度)	2023(令和5) 年度末実績値	評価
成果指標						
⑧	住み心地よいと感じている人の割合※ ¹	2021	62.8%	70.0%	64.4%	😊
取組点検項目						
4-1	大気環境基準達成率	2021	一部非達成	達成※ ²	光化学オキシダント非達成	😞※ ⁵
4-1	水の環境基準達成率	2021	達成	達成※ ³	達成	😊
4-1	自動車騒音の環境基準達成率	2021	一部非達成	達成※ ⁴	昼間2地点、夜間2地点で非達成	😞※ ⁵
4-1	工場、指定作業場、解体工事等の監察件数	2021	306件	増加	606件	😊
4-2	犬のふん尿等に関する苦情件数	2021	97件	減少	130件	😞
4-2	環境美化推進団体・ボランティア清掃活動(スィーパーズ)団体数	2021	36団体	増加	33団体	😞

※¹ 区民に対する『環境に関するアンケート』の問1「①空気のきれいさ②まちの静かさ(騒音や振動)」について、1満足、2まあ満足と回答した割合の平均値。

※² 大気汚染常時監視の結果、すべての指標項目で環境基準値を満たしていること。

※³ 目黒川での水質測定の結果が、全地点(3地点)、全回(年4回)で環境基準値を満たしていること。

※⁴ 「国土交通省2015(平成27)年度道路交通センサス」(22区間)を対象に実施する交通騒音測定(面的評価調査)結果の環境基準の達成。単年度の測定は、全20区間から偏りのないよう計画的に6区間(地点)を選定して実施している。

※⁵ 基準値の達成項目数や達成地点数と比較し、目標値に近づいているか否かを評価した。

2023(令和5)年度の成果

- 住み心地よいと感じている人の割合は64.4%で基準値より1.6ポイント上昇しています。大気、自動車騒音の環境基準は、一部目標を達成できていない状況です。新型コロナウイルス感染症の制限解除を受け、工場、指定作業場、解体工事等の監察件数が大幅に増加しました。
- 犬のふん尿等に関する苦情件数は増加、環境美化推進団体・ボランティア清掃活動(スィーパーズ)団体数は減少しており、それぞれ更なる普及啓発が必要となっています。

目黒区で監視している大気汚染物質

区では、大気を汚染し、人に健康被害を及ぼすおそれのある物質を定期的に監視・測定や予防対策を行っています。主な対象の物質は以下のとおりです。

二酸化窒素(NO_2)、浮遊粒子状物質(SPM)、微小粒子状物質(PM_{2.5})、光化学オキシダント、アスベスト、ダイオキシン類、揮発性有機化合物(VOC)、光化学スモッグ

※各物質の解説については、「2024めぐるの環境」の本編27ページをご参照ください。

施策の目標4-1 安全・安心な生活環境の確保

● 大気の監視・情報提供

区では、東山中学校屋上に大気汚染測定室を設け、毎年、環境測定を実施しています。2023（令和5）年度は、光化学オキシダントを除き、環境基準を達成しています。幹線沿道における窒素酸化物濃度調査を4回（各回平日5日間連続測定）行った結果、測定期間中、環境基準を超過した日はありませんでした。また、一般大気中のアスベスト測定調査を目黒区総合庁舎で実施しており、アスベストは検出されませんでした。光化学スモッグ注意報は2回発令され、発令時には防災無線での放送や区内施設に懸垂幕掲示を行いました。

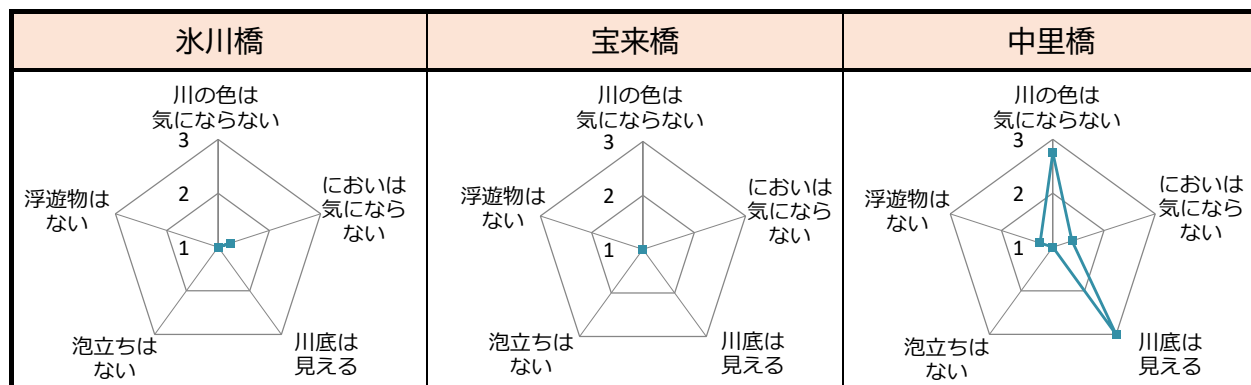
● 水質の監視・情報提供

目黒川の3地点で年4回、水質を測定しています。2023（令和5）年度は、人の健康の保護及び生活環境の保全に関するすべての項目で環境基準を満たしていました。

また、化学物質の漏えい、地下浸透により発生する地下水汚染の実態把握を目的として、地下水の水質モニタリング調査を行いました。新たに汚染が発覚した所はありませんでした。

目黒川の水質の測定とあわせて、川の色やにおいなどの項目について測定者の直感的な評価を記録しました。調査の結果、「川の色は気にならない」、「川底は見える」の項目では、氷川橋・宝来橋と中里橋で大きな差がありました。

● 川の色やにおいなどに関する測定者の直感的な評価 ●



● 自動車騒音の監視・情報提供・沿道対策

区では、自動車騒音の常時監視（面的評価調査）と自動車交通騒音・振動調査（要請限度調査）を行っています。2023（令和5）年度は、面的評価調査では、全6区間のうち昼間2地点・夜間2地点で騒音の環境基準値を超過しました。要請限度調査では、騒音と振動ともに全6地点で要請限度を下回りました。なお、対象となる調査地点についてはあわせて交通量を調査し、騒音・振動の測定結果との相関を確認しており、2023（令和5）年度は明確な相関はみられませんでした。

また、道路騒音が著しい環七通り沿いにおいて、建築物の建築などに際し、道路交通騒音の防止に係る届出書を受理し、後背地への道路交通騒音防止に取り組んでいます。

大気、水質、自動車騒音の監視・測定結果の詳細は、以下の区公式ウェブサイトより「環境調査報告書」をご覧ください。

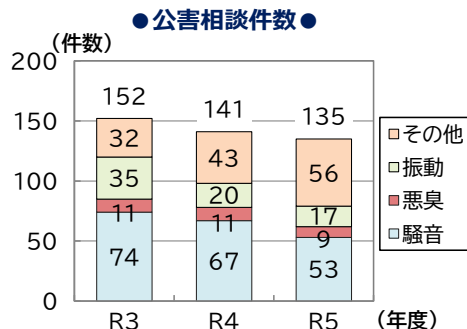
WEB トップページ > 区政情報 > 区の概要 > 統計・調査・報告 > 調査・報告 > 環境調査報告書



● 生活公害に係る相談・調整

近年の公害相談は、騒音・振動、悪臭など典型7公害のほか、アスベスト被害に対する不安や空き地の雑草等多岐にわたっており、解決までに時間を要する困難な案件も増加しています。

2023（令和5）年度の公害相談件数は、135件でした。



施策の目標4-2 清潔で美しいまちの維持

● 吸殻等のポイ捨て禁止・犬のふん放置等に対するマナー普及啓発

ポイ捨て防止のマナー向上のため、啓発プレート及び路上シールを配布しています。中目黒駅周辺でポイ捨て禁止キャンペーンを実施したほか、総合庁舎側壁に「ポイ捨て禁止」「みんなでつくろうきれいなまち」の懸垂幕を掲示しました。

犬のふん放置防止などのマナー向上として、啓発プレートの配布や「犬の飼い方セミナー」を実施しましたが、糞尿マナーに関する相談は増えており、更なる啓発が必要です。

また、目黒区では中目黒駅、学芸大学駅、都立大学駅、自由が丘駅周辺を路上喫煙禁止区域に指定しており、「めぐろたばこルール」により、区内全域で歩きタバコを禁止にしています。路上喫煙禁止啓発シートと電柱看板広告を設置し、路上喫煙禁止啓発パトロールを実施しました。2023（令和5）年度は594回実施し、禁止行為の周知と吸い殻等の清掃活動を行いました。このほか、受動喫煙防止のため、屋内型喫煙所の整備を進めており、2023（令和5）年度は自由が丘らかば通り公衆喫煙所を整備しました。

● 路上喫煙禁止区域内路上喫煙禁止シート ●



● 路上喫煙禁止区域外の啓発シート ●



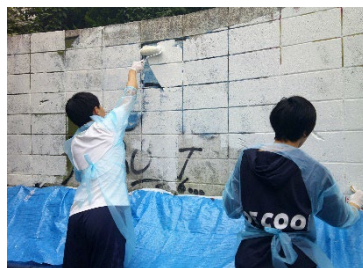
● パートナーシップによる美化活動の推進

区民、事業者、団体、学校等と連携した美化活動を推進しています。2023（令和5）年度は、「落書き消去活動NO GRAFFITI MEGURO ～中目黒・祐天寺地区～（主催：目黒警察署、共催：目黒区・目黒日本大学高等学校・東急電鉄株式会社・東京メトロ株式会社）」を実施し、68名が参加しました。

また、ボランティア清掃活動団体（スーパース）の活動支援を行っています。2023（令和5）年度は、1,013回、延べ6,714人が清掃活動に参加しました。

区では、環境美化推進団体にトングなど清掃用具の貸出しや啓発品を提供するとともに、落書き消去剤の貸出し、落書き防止対策を実施するための経費の補助などを行っています。

● NO GRAFFITI MEGURO ●



● スーパース活動 ●



みな環境を知り、学び、行動する未来をつくる

指標の評価

😊：目標値を達成 😐：目標値に近づいている ☹️：目標値に近づいていない —：現状値を把握していない

指標項目		基準年度	基準値	目標値 (2032年度)	2023(令和5) 年度末実績値	評価
成果指標						
⑨	環境に関する活動に参加したことがある人の割合※1	2021	9.8%	15.0%	11.4%	😐
取組点検項目						
5-1	目黒区エコプラザ開催の環境学習講座・講習会の実施回数	2021	59回	増加	94回	😊
5-2	環境活動団体数(目黒区エコプラザ協力団体、スイーパーズ活動団体、グリーンクラブ、公園活動登録団体の合計数)	2021	154団体	増加	134団体	☹️
5-2	環境推進員ステップアップ講座・交流会参加者数	2021	14人	増加	6人	☹️

※1 区民に対する『環境に関するアンケート』の問5②③に1いつもしている、2時々していると回答した割合の平均値。

2023(令和5)年度の成果

- 環境に関する活動に参加したことがある人の割合は、基準値から1.6ポイント増加しており、目標値に近づいています。
- 環境学習講座・講習会の実施回数は、新型コロナウイルス感染症の制限解除に伴い、大幅に増加しました。
- 環境活動団体数・環境推進員ステップアップ講座・交流会参加者数については、基準値から減少しており、それぞれ更なる普及啓発が必要となっています。

施策の目標5-1 継続的な環境教育と学習機会の充実

● 出前講座やエコプラザを活用した環境学習

目黒区エコプラザが実施している出前講座を活用し、環境学習を推進しています。2023(令和5)年度は、小学校2校で142人が受講しました。また、学童保育クラブ2箇所、児童館で8回、その他イベントで2回実施しています。また、身近な体験を通して楽しく学べる、さまざまなテーマの講座・講習会を目黒区エコプラザで開催しています。

● 出前講座 ●



● 環境学習講座 ●



● 環境学習機会の提供・子どもから大人までを視野に入れた啓発活動

自発的な環境活動へのきっかけとして、身近なテーマで大人から子どもまでを対象とした講演会などを開催しました。また、親子を対象とした体験活動や講座の実施や未就学児や低学年向けの啓発絵本の配布、若年層を対象とした普及啓発など世代に応じた啓発活動を行っています。

● 2023（令和5）年度に実施した環境学習の内容と参加人数 ●

講演会・講座名など	内容	延参加人数
環境講演会	「あなたのCO ₂ 排出量はどのくらい？脱炭素の暮らしとまちの未来」※YouTube後日配信	25人
社会教育講座	「プラスチックごみからSDGsを考える」	31人
消費生活展	環境に関するパネル掲示	372人
消費生活連続講座	「できることから取り入れてみよう！エシカル消費」	22人
親子ふれあい自然体験	ふなばし三番瀬海浜公園でビーチコーミングや生き物観察	28人
子育てママのエコ入門	子育てをする中で楽しくエコライフを送る講座	61人

施策の目標5-2 環境活動の支援

● パートナーシップによる環境情報の発信・参加促進

「エコまつり🌱めぐろ2023」を地域団体と事業者団体、企業、エコライフめぐろ推進協会及び区が連携して、「めぐろから始めよう！環境にやさしい未来」をテーマに実施しました。31団体が参加し、来場者は約2,500人でした。

また、地域の環境保全活動の活性化につなげるため、幅広い環境活動に継続して取り組んでいる区民・団体・事業者を顕彰する「エコ・チャレンジ顕彰」を、2001（平成13）年度から開始し、2022（令和4）年度までに57人の区民、58団体、16事業者の方を顕彰しています。2023（令和5）年度は、1団体、1事業者を顕彰しました。

● エコまつり🌱めぐろ2023 ●



● めぐろエコサポーター制度・環境推進員養成講座・ステップアップ講座・交流会

めぐろエコサポーター制度は、環境推進員養成講座の修了生が登録できる制度で、地域での活動に必要な体験や仲間づくりの場として用意されているものです。登録者は、2023（令和5）年度末で124人となっています。目黒区エコプラザでは、毎月エコサポーターに情報提供を行っています。

環境推進員養成講座は、地域において積極的に環境保全活動を行うことのできる人材を育成することを目的に、全6回の連続講座として開催しています。2023（令和5）年度は、「それ必要？衣食住について考えよう！」をテーマに、第14期環境推進員養成講座を開催し、養成講座修了者は7人でした。また、環境推進員が、区や団体などと協力して地域で活動していくためのステップアップ講座や連携を図るための交流会などを開催しています。

● 環境推進員養成講座 ●



ゼロカーボンシティ実現に向けた重点プロジェクト

区民、事業者、区の3つの取組

プロジェクト① エコプラザを活用した積極的な環境学習の促進

● 取組主体：区民

2023(令和5)年度の実施状況

- 環境について学べる講座や、小学校・児童館などへの出前講座を実施しました。
- 目黒区エコプラザのPR強化として、Instagramによる情報発信を試行実施するとともに、エコプラザだよりの発行（計12回）やウェブサイト・住区掲示板、区有施設へのチラシ配布などを活用し、エコプラザ利用の促進を図りました。

●目黒区エコプラザの利用状況●

利用項目	登録人数 ／利用件数
新規利用登録人数	93人
活動室利用件数	271件
図書貸出し件数	134件

プロジェクト② 区内事業所におけるゼロカーボンの促進

● 取組主体：事業者

2023(令和5)年度の実施状況

- 「めぐろグリーンアクションプログラム事業所版」を「めぐろゼロカーボンプログラム」として事業の再構築を行うため、めぐろグリーンアクションプログラム認定会において、事業見直しにおける今後の課題や重点的に取り組む項目についての意見交換を行いました。

●めぐろグリーンアクションプログラム（事業所版）（認定事業所ステッカー）●



プロジェクト③ 区有施設におけるゼロカーボンの推進

● 取組主体：区

2023(令和5)年度の実施状況

- 区の事務事業からの温室効果ガス排出の削減のための法定計画である「めぐろエコプラン3（目黒区地球温暖化対策実行計画（事務事業編）【第三次計画】）」の中間見直しを行いました。（2024（令和6）年度から実施）
- 温室効果ガス総排出量の削減目標について、計画最終年度の2030（令和12）年度において基準年度比53%削減に引き上げたほか、エネルギー消費原単位の削減、ZEB等の推進、非化石燃料由来電力への切り替え、ZEVの導入に関する目標を、新たに設定しました。

●めぐろエコプラン3（中間見直し）●



第2章

区役所の温室効果ガス削減の取組

区内の大規模事業所のひとつとして取り組んでいる区役所の事務事業からの温室効果ガス排出削減の取組について、「目黒区地球温暖化対策推進第三次実行計画（めぐろエコ・プランⅢ）」に基づく2023（令和5）年度の実績と取組に対する評価について報告します。

2023（令和5）年度の実績結果

温室効果ガス総排出量・エネルギー使用量の削減

温室効果ガス（二酸化炭素換算）総排出量は、基準年度である2013（平成25）年度の値と比較して、33.3%の削減となり、2023（令和5）年度目標である「2013（平成25）年度を基準として10%（毎年度2%）削減」を達成しました。

エネルギー（原油換算）使用量については、基準年度と比較して変化はなく、目標を達成できませんでした。



●環境保全キャラクター ちきゅうくん●

●温室効果ガス総排出量・エネルギー使用量●

区 分	【基 準 年】 2013 (平成25) 年度	2023 (令和5) 年度	対基準年度 比
温室効果ガス（二酸化炭素換算）総排出量 (t-CO ₂ -eq)	23,627	15,764	▲33.3%
エネルギー（原油換算） 使用量 (kL)	11,701	11,703	±0.0%

●排出元区分別内訳●

区 分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ -eq)	構成割合	使用量
電気	8,387	53.2%	32,820MWh
都市ガス	6,680	42.4%	2,996km ³
水道	125	0.8%	624km ³
下水道	283	1.8%	630km ³
化石燃料	266	1.7%	※1
その他※2	22	0.1%	

※1 購入量として、ガソリン40kL、LPG2t、軽油29kL、灯油37kL、A重油20L。

※2 その他はメタン及び一酸化二窒素の二酸化炭素換算量

○ 端数処理（四捨五入）を行っているため内訳と合計が一致しない場合があります。

温室効果ガス削減に向けた取組

● 省エネルギー設備等の導入

区有施設に省エネ性能の高い照明や空調機などの省エネルギー機器の導入などを行いました。その他、電気自動車（乗用車）を3台導入しました。

● 緑化の推進

温室効果ガスの吸収作用の保全・創出を図るために、区有施設の改修時などに緑化を行いました。

● 啓発など

全職員（学校は環境推進員と希望者）を対象とした環境研修の実施（オンライン開催、延べ参加人数 2,420 人）や「めぐろエコ・プランⅢポケットブック」の配付、啓発ポスターの作成・掲示を行うことで、職員の意識啓発を図りました。また、エコオフィス活動や地球温暖化対策の関連情報をわかりやすく提供する「めぐろエコ・プラン通信」（第 45 号から第 47 号）を作成し、庁内メールで発信しました。

環境負荷の低減に向けた取組

● ごみの排出量及び紙の使用量の状況

「ごみの排出量」と「紙の使用量」は、前年度以下に減らすことを目標としています。2022（令和 4）年度と比較すると、ごみの排出量、外注印刷物ともに減少しました。

●ごみの排出量（資源回収量を含む）● （単位：t）

●紙の使用量● （単位：万枚／A4 換算）

区 分		2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対前年度比
排出量		1,125	1,076	▲4.4%
内訳	燃やすごみ	959	929	▲3.1%
	燃やさないごみ	143	124	▲13.3%
	資源	23	24	+4.3%

区 分	2022 (令和4) 年度	2023 (令和5) 年度	対前年度比
用紙の 購入量	4,169	3,878	▲7.0%
外注 印刷物	7,827	7,053	▲9.9%

2023(令和5)年度の取組結果に対する評価

区民と学識経験者からなる第三者評価委員会が、「めぐろエコ・プランⅢ」の 2023（令和 5）年度の取組結果について評価しました。評価結果を踏まえ、今後も環境負荷の低減に努めていきます。

（評価コメント要旨）

温室効果ガス総排出量については、区有施設への再生可能エネルギー 100%電力の導入等により、順調に減少している。エネルギー使用量は、異常気象の影響もあり横ばいだが、省エネルギー設備の導入や電気自動車への切り替え、全職員向けの「環境研修」や職員への周知・啓発は高く評価したい。

IT を利用することにより、紙の削減だけでなく業務の効率化に繋がる取組を引き続き進め、2050 年ゼロカーボンシティの実現に向けて取り組んでいただきたい。

2024めぐろの環境（令和 6 年度版 環境報告書）本編について

すべての内容を記載した「2024めぐろの環境（令和 6 年度版 環境報告書）」については、以下の区公式ウェブサイトよりご覧ください。

WEB トップページ > 区政情報 > 区の概要 > 統計・調査・報告
> 調査・報告 > 目黒区環境報告書（めぐろの環境）



2024 めぐろの環境(令和6年度版 環境報告書) 概要版

発行日： 2024（令和6）年9月発行
発行 者： 目黒区
編集部署： 目黒区環境清掃部環境保全課
東京都目黒区上目黒2丁目19番15号
【電話】03-5722-9356（直通）
編集協力： 株式会社ナレッジリーン